

編集後記

図書館を全面委託にするという話がいきなり出てきた。

協議によって出た方針ではなく、トップの意向だった。図書館委託業者を2社呼び、勉強会という形で図書委員会の先生を対象にプレゼンが行われた。結論は決まっている中での、規定路線の一手続きかと疑心暗鬼にかられつつ、私たちは参加した。

私はおとなしく聞いていただけだったが、図書館に必要と思われる人員は何人ぐらいかという教員の質問に対して、現在の人員よりかなり多く回答するなど、業者の詰めが甘かった。私以外の職員が全員直接雇用のパートであることを考えると、この話はどう見ても金銭的に折り合わない。また、大学図書館の経験が豊富と言っても、業者は医療系図書館の特色を把握しきれておらず、これでは教員の同意を得られない。私ならまったく違うプレゼンをする。

最近はかなり怪しくなっているとはいえ、最高学府である大学が、その知の根源である図書館の運営をこのような第三者に明け渡してよしとするという風潮を、私は心から理解できない。図書館員が本当に専門職かどうかという議論はしてくれてかまわない。しかし何人ものすぐれた図書館員を思い浮かべると、この人たちが図書館員として活躍している大学がやはり幸せであるということ、多くの大学経営者が理解に及んでいない現実に脱力する。

学長や図書館長が尽力してくださり、ひとまずこの話は流れた。

(M)

会誌編集部員

部 長：井 上 智奈美（三菱京都病院）
 部 員：岩 瀬 成 美（京都医療センター）
 寺 澤 裕 子（関西労災病院）
 増 田 徹（藍野大学）
 松 尾 知 香（石切生喜病院）

病院図書館 第35巻 第1号

2016年11月30日 発行

定 価 ￥1,500（年間購読料 ￥3,000） 送料込

発行所 近畿病院図書室協議会

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25 藍野大学中央図書館 気付

TEL (072) 625-6369 FAX (072) 627-3355

印刷所 明文舎印刷株式会社

〒601-8316 京都市南区吉祥院池ノ内町10

TEL (075) 681-2741 FAX (075) 681-2742
